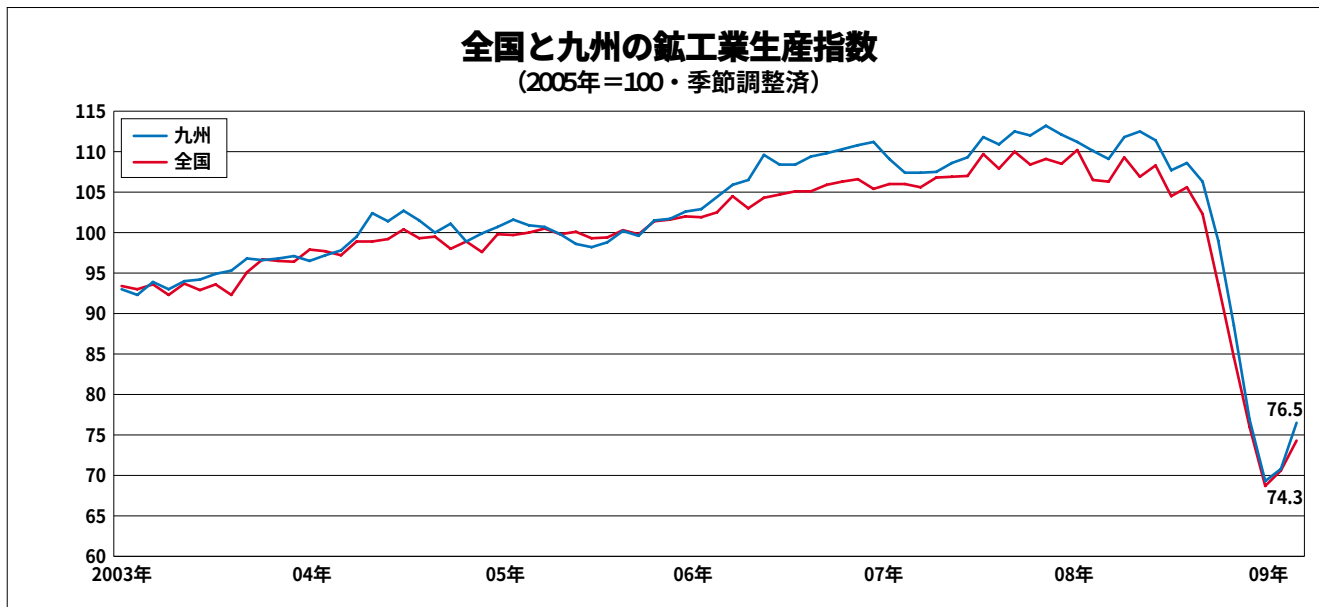


九州の鉱工業生産動向

[基調判断]……………生産は持ち直しの動き

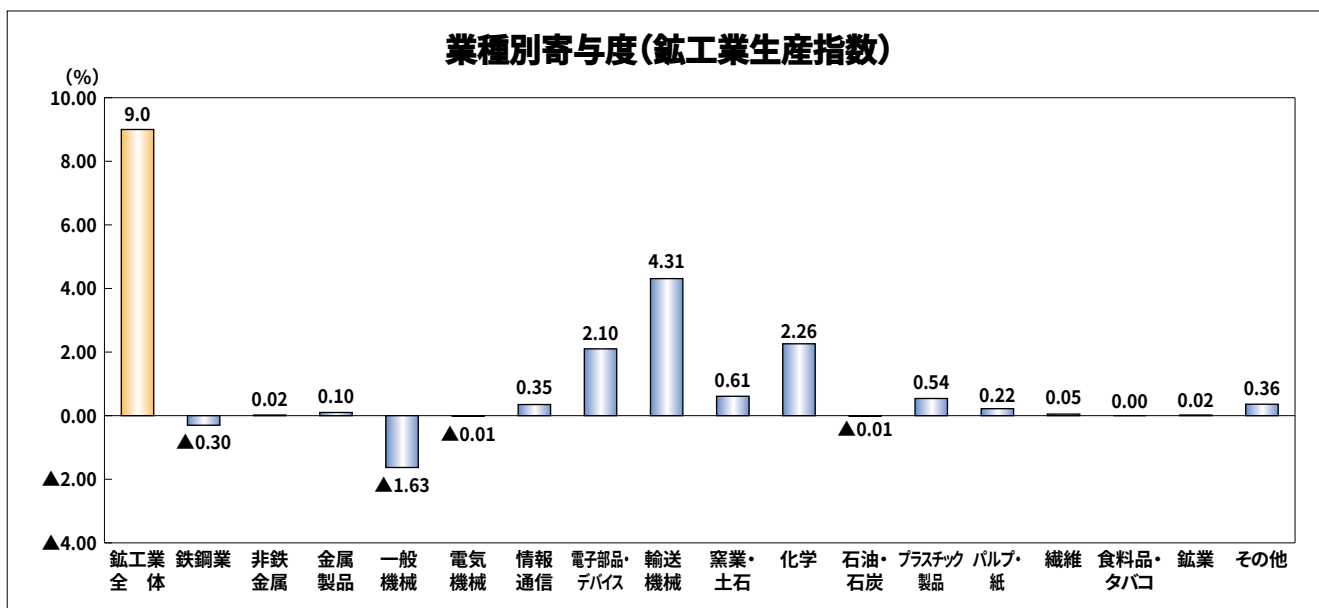
2009年4月の九州の鉱工業生産指数(季節調整済)は、在庫調整が進んだ結果、前月比9.0%上昇し、2ヶ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向]……………全17業種のうち上昇12業種、低下4業種、横ばい1業種

鉱工業生産指数の前月比9.0%の上昇について、業種別に寄与度をみると、九州経済の基幹産業といえる輸送機械工業、化学工業、電子部品・デバイス工業が大きく、一般機械工業、鉄鋼業などはマイナスとなりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

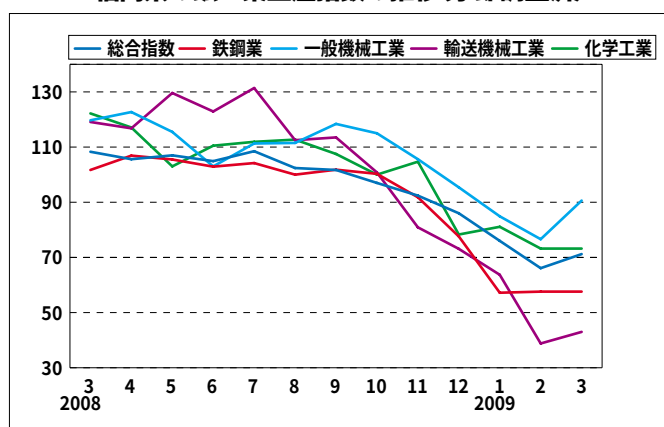
[福岡県の景気]……厳しい情勢ではあるが一部に持ち直しの動きあり

企業部門は生産活動に回復感が見られます。また、公共投資も前年実績を上回りました。さらに、企業倒産についても、緊急保証制度の効果もあり件数は前年を下回りました。しかし、家計部門は依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を下回っています。新設住宅着工も、住宅市場の冷え込みの影響で分譲をはじめ持家、貸家ともに前年比減少しました。

福岡県の景気は、厳しい情勢ではありますが、一部に持ち直しの動きがあるといえます。

[生産活動]……………一般機械、輸送機械で前月比上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)



(出所)福岡県

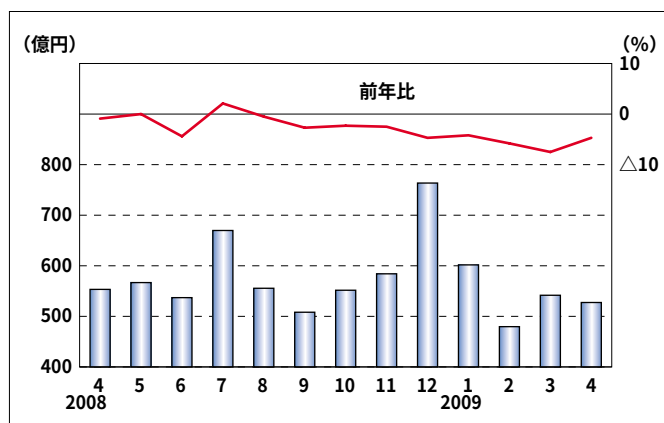
3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、基幹産業である自動車や半導体について、減産幅を緩和したことなどの影響で、総合指数は71.2と、前月比7.7%上昇しました。

主要業種では鉄鋼と化学は前月と同じ指数でしたが、一般機械で前月比18.3%、輸送機械で前月比10.8%上昇しました。

生産活動は、最悪期を脱しつつあるといえます。

[大型小売店]……………百貨店は減少、大型スーパーは増加

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

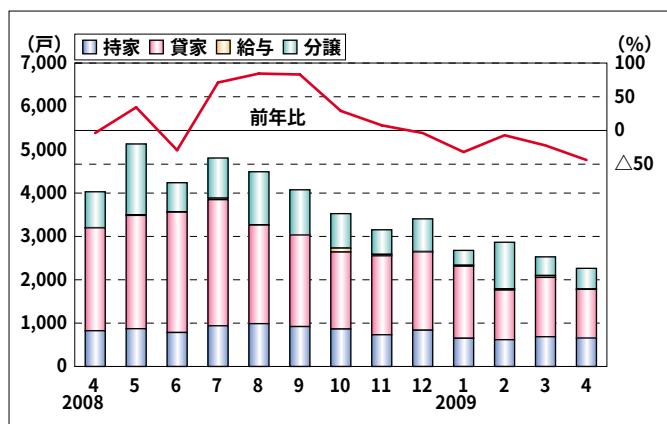
百貨店では高温多湿の影響で春物衣料品が伸び悩んだことや高額品を中心に売上不振が継続したことにより前年比14.4%減となりました。

一方、スーパーは消費者の節約志向で割安なプライベートブランド(PB)商品が堅調で前年比3.9%増加しました。

トータルでは前年比4.7%減の527億円となり、依然として消費者の生活防衛意識が強く働いているといえます。

[住宅建設]……貸家・分譲の減少が著しく5ヶ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



(出所)国土交通省

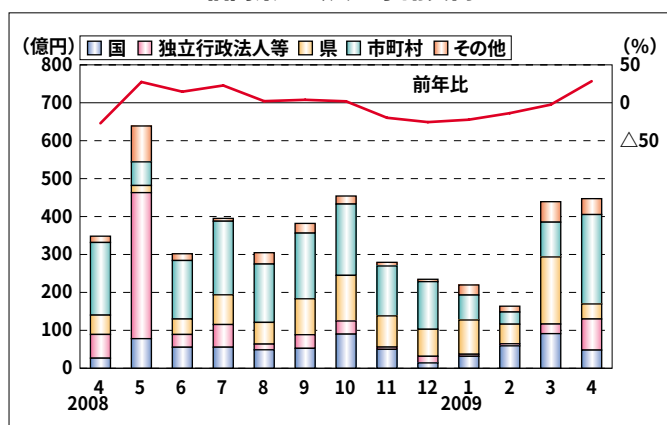
4月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比20.4%減の657戸、貸家で同52.7%減の1,122戸、分譲で同41.8%減の481戸とすべての指標で減少し、全体では同43.8%減の2,264戸と、5ヵ月連続で前年を下回りました。

特に貸家・分譲住宅が著しく減少しています。これは雇用所得環境の厳しさに加え、住宅分野の市場が冷え込んでいて、在庫処分を優先させる業者の動向が着工を抑制していると考えられます。

持ち家の減少については6月から始まる長期優良住宅制度を活用するために着工を延ばしている消費者がいることが考えられます。

[公共工事]……請負金額、件数ともに前年を上回る

福岡県の公共工事請負高



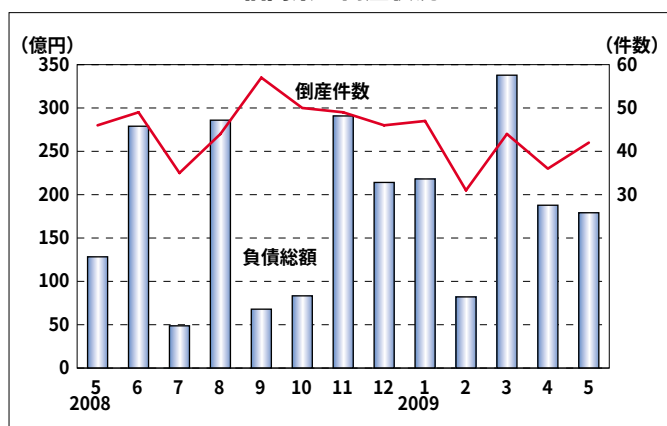
(出所)西日本建設業保証

4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比34.0%増の619件、金額が同28.4%増の447億円と、緊急経済対策による前倒し発注の影響もあり共に前年を上回りました。

発注者別では「国」が新若戸道路工事などにより同80.3%増、「その他」が福岡市土地開発公社による九州大学統合移転用地造成工事と同152.5%増加しています。

[企業倒産]……倒産件数は減少するも、負債総額は増加

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

5月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、中小企業の資金繰りを支援する緊急保証制度の利用拡大や公共工事の前倒し発注が歯止めをかけ、件数は前年比8.7%減の42件となりました。

ただし、大型倒産が建設業で1件(負債総額約67億円)発生したため、負債総額としては同39.6%増加となる179億1,400万円となりました。

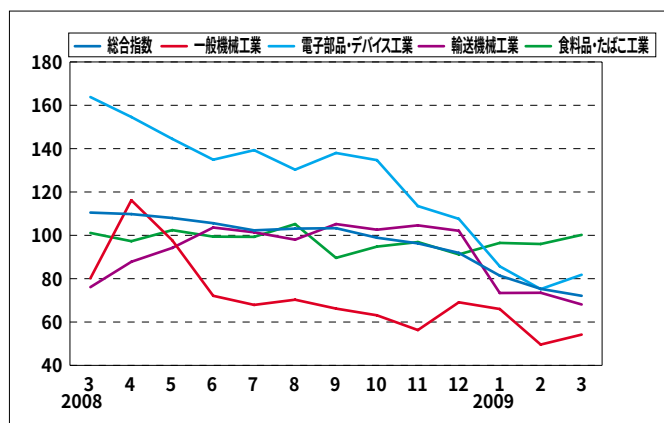
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気]……………悪化状況のなか回復の動きも見られる

生産面では、電子部品・デバイスや一般機械がプラスに転じ、全体の減少幅は縮小しています。また、個人消費は所得環境の悪化などにより厳しい状態が続いていますが、公共投資は前年を上回り、住宅投資では都心再開発などで分譲マンション着工が増加するなど、回復に繋がる動きも見られます。

[生産活動]……………総合指数の減少続くが、電子部品・デバイスや一般機械はプラスに転じる

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)



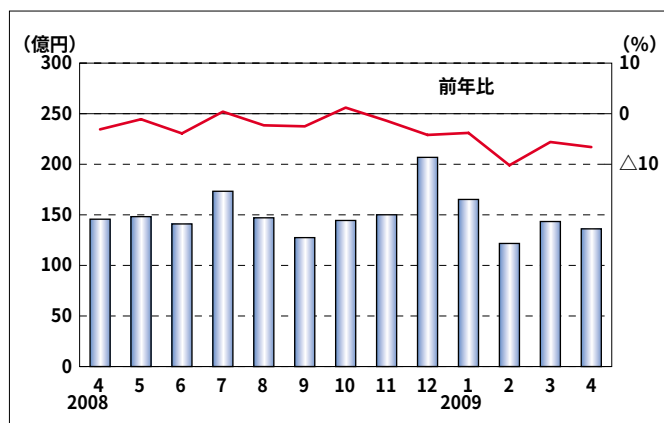
(出所)熊本県

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比4.2%減少し72.1となりました。

輸送機械は主体となる二輪車生産の減産状況が続いており、前月比マイナスでした。一方、比較的堅調な動きを示した食料品・たばこに加え、一般機械は7カ月ぶり、電子部品・デバイスは5カ月ぶりに同プラスとなりました。

[大型小売店]……………生活防衛意識が強く前年比6.6%減

熊本県の大型小売店販売額

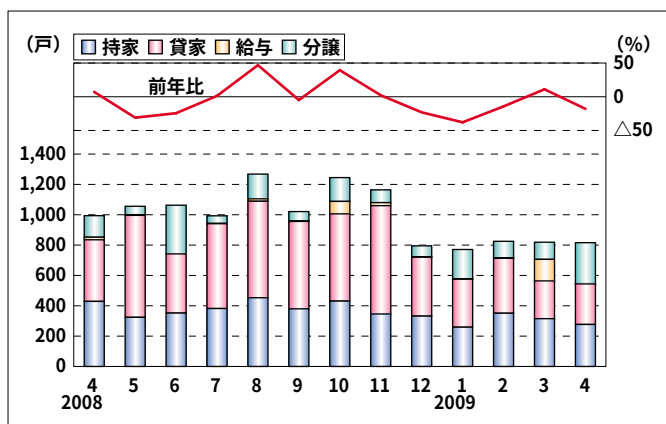


(出所)九州経済産業局

4月の県内大型小売店販売高は、消費者の生活防衛意識が強く働いており、前年比6.6%減の136億円と前年実績を下回りました。衣料品や身の回り品の落ち込みが続く中、PB商品など比較的堅調な食料品も前年比マイナスとなりました。

[住宅建設]……………駅前再開発で分譲マンションは前年比90.1%増

熊本県の新設住宅着工戸数

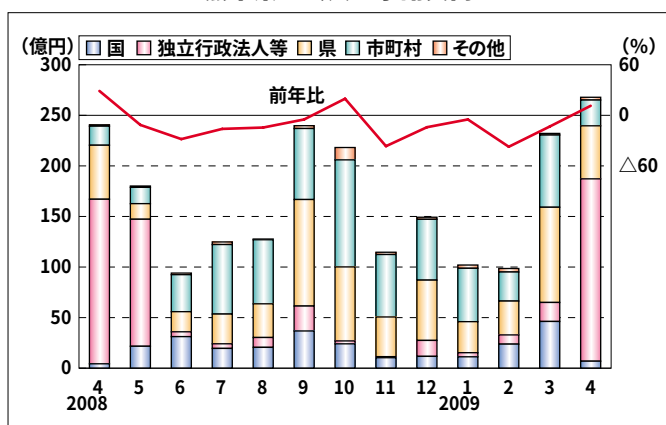


(出所)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比35.4%減の277戸、分譲は熊本駅再開発に伴うマンション着工により同90.1%増の270戸となりました。給与住宅は88.2%減の2戸、貸家で同34.2%減の267戸と分譲のみの増加となり、全体では同17.9%減の816戸と、前年を下回りました。

[公共工事]……………新幹線関連工事で請負金額は前年比11.3%増加

熊本県の公共工事請負高



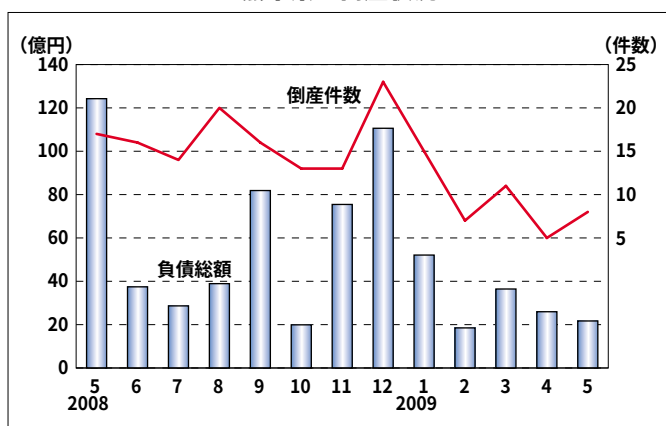
(出所)西日本建設業保証

4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比36.6%増の306件、金額が同11.3%増の268億円と、件数、請負金額ともに前年を上回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」で同58.9%増、「独立行政法人等」による九州新幹線関連工事で同10.8%増加したほか、「県」は同1.8%減、「市町村」で同35.3%増加し、「その他」で同101.0%増と、全発注者合計では6カ月ぶりに前年を上回りました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに大幅減

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

5月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比52.9%減の8件、負債総額が同82.5%減の21億6,900万円となりました。緊急保証制度や公共工事の前倒し発注効果などで、件数、負債総額ともに、前年比大幅に減少しています。

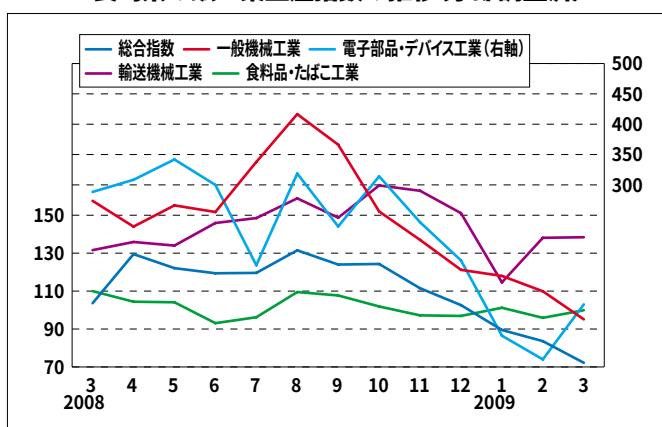
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気]……………厳しい状況が続くが一部に回復の指標も見られる

生産面では、急速に低下していた電子部品・デバイスがプラスに転じましたが、生産全体はまだ減少が続いています。また、公共工事は県や市町からの発注で大幅増となりましたが、大型小売店販売額や住宅投資では前年割れが続くほか、個人消費も依然として低迷しており、長崎県の景気は、厳しさが続いています。

[生産活動]……………総合指数の減少続くが、電子部品・デバイスはプラスに転じる

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)



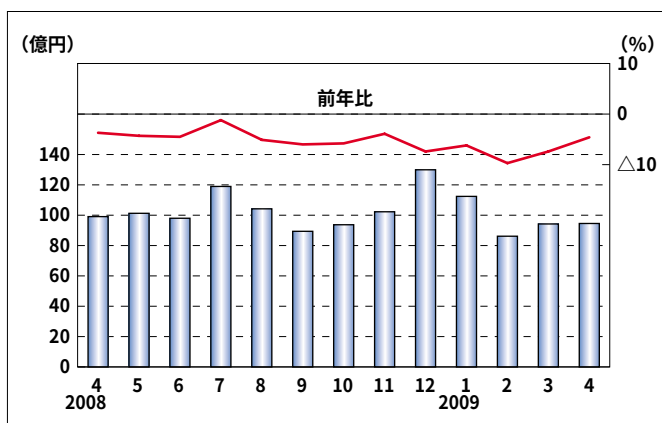
(出所)長崎県

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は72.2と前月比13.6%低下しました。しかし、電子部品・デバイスは半導体集積回路、水晶振動子の生産増により前月比大きく増加したほか、食料品・たばこも増加しました。

一方、一般機械は発電プラント関連の減産で減少し、輸送機械もほぼ横ばいに留まったため、総合指数を押し上げるには至りませんでした。

[大型小売店]……………生活防衛意識の高まりで前年比4.6%減

長崎県の大型小売店販売額



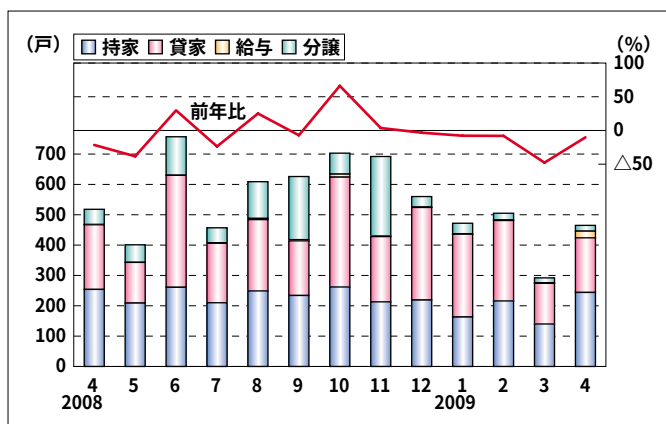
(出所)九州経済産業局

4月の県内大型小売店販売高は、消費者の生活防衛意識の高まりなどにより、前年比4.6%減の95億円となりました。

業態別にみると、百貨店での販売高は同5.2%減、大型スーパーの販売高は、同4.3%減少しています。

[住宅建設]……………持家、貸家、分譲が前年割れとなり前年比10.2%減

長崎県の新設住宅着工戸数

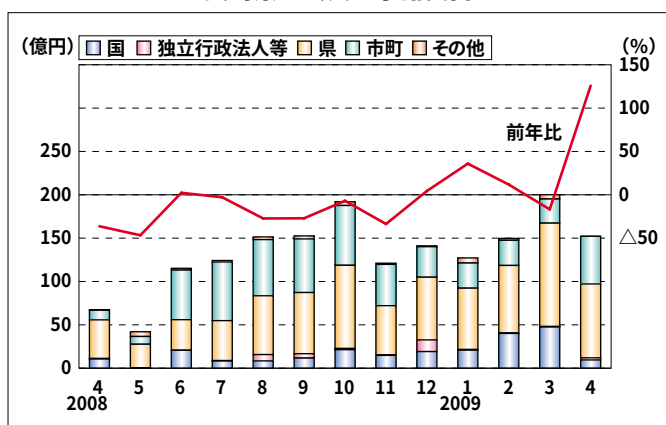


(出所)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比3.9%減の244戸、貸家で同15.5%減の180戸、分譲で同62.0%減の19戸となりました。給与住宅で22件増加したものの、全体では同10.2%減の465戸と前年を下回りました。

[公共工事]……………「県」「市町」の発注増で、件数金額ともに大幅増加

長崎県の公共工事請負高



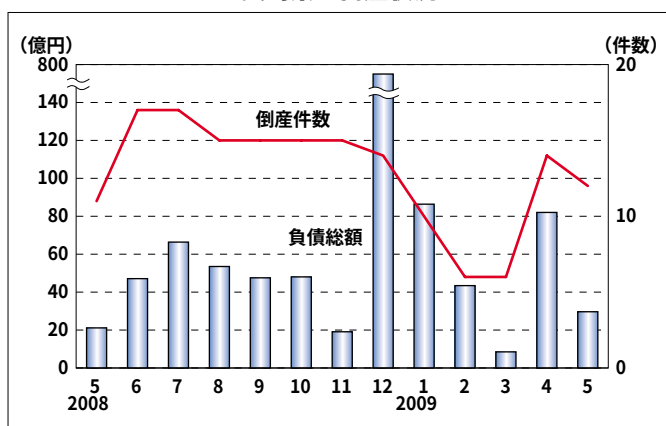
(出所)西日本建設業保証

4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比160.0%増の234件、金額が同125.8%減の152億円と、件数、請負金額ともに前年比急増しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は同10.1%減となったものの、「県」では高架橋工事などの増加で同91.1%増、「市町」では諫早市庁舎建設着工で同約5倍と大きく増加しました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに前年比増加

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

5月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比9.1%増の12件、負債総額が同40.3%増の29億6,500万円となりました。